****

応募シート

* 住所

（〒　　　－　　　）

* 氏名(ふりがな)

* 性別　　　　　　　　　　　　　年齢
* 電話番号

（自宅）　　　－　　　－　　　（携帯電話）　　　－　　　－

* メールアドレス

（PC）

（携帯電話）

* 所属　□本学学生　□本学卒業生　□本学修了生　□その他（　　　　　）
* 学校名（勤務先）

* 板書画像　　 （　　）枚
* 板書説明書 （　　）枚

****

**全　　枚の　　枚目**

板書説明書

指導者：

対象学年：　□小　□中　□高　□特別支援学校　　年

内容（単元名など）：

授業日：　　　　　年　　　月　　　日

使用教科書：　　　　　　　　　（平成○○版）

※板書で工夫したところなどを記入してください。

※内容についての確認事項（チェックする場合は■にしてください。）

□板書は自分のオリジナルである。

□個人情報の観点から、配慮が必要なところはない。または処理している。

□使用教科書の画像や個人情報などには、こちらでマスク処理（不明瞭にする効果）を施すことがあることがあります。ご了承ください。

※配慮が必要な箇所があれば以下にご記入ください。(記入例参照)

****

**全　１　枚の　１　枚目**

板書説明書【記入例】

指導者：　兵教　太郎

対象学年：　■小　□中　□高　□特別支援学校　　４年

内容（単元名など）：　ごんぎつね

授業日：　2014年９月10日

使用教科書：　光村図書（平成２３年発行）

※板書で工夫したところなどを記入してください。

作品の「題名」も作品の重要な要素であり、「題名読み」により、「人がら」を読んでいる。

「夜でも昼でも」「辺りの村」「いたずら ばかり」「ひとりぼっちの小ぎつね」など本文のキーワードを抜き出している。

子どもから出てきた「読み」を、黄色のチョークによって書きとめている。

赤い矢印によって、子どもの読みを関係づけている。

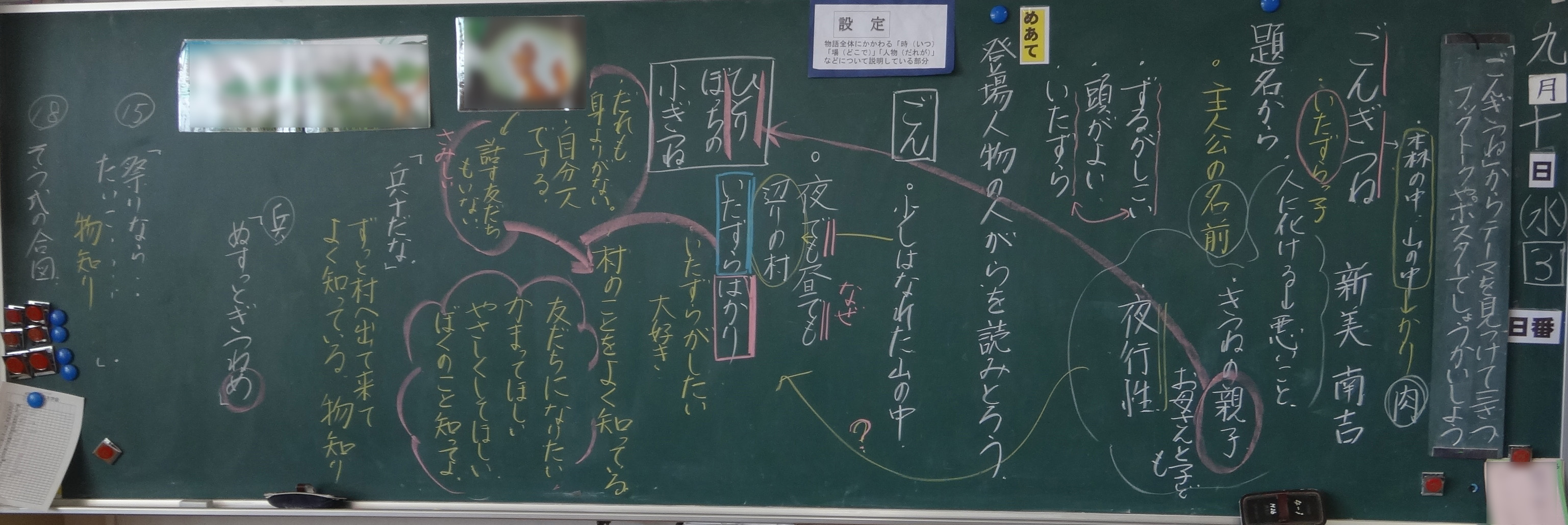
「場面ごと」の読み取りではなく、物語の構造である「設定―展開―山場―結末」の【設定】に書かれている「登場人物の人柄」を読み取る学習活動である。

　そのため、「祭りなら…」「そう式の合図…」など、他の場面とも関係づけることも行う。

本時のめあて【小めあて】である「登場人物の人がらを読み取ろう」を明示している。

（ここには写っていないが）黒板の右横のホワイトボードに「子どもとともに考えた学習計画」が示されている。

「単元を貫く言語活動」としての【大めあて】〔「ごんぎつね」からテーマを見つけて三さつブックトークやポスターでしょうかいしよう〕を短冊黒板を使って示している。



※内容についての確認事項（チェックする場合は■にしてください。）

■板書は自分のオリジナルである。

■個人情報の観点から、配慮が必要なところはない。または処理している。

■使用教科書の画像や個人情報などには、こちらでマスク処理（不明瞭にする効果）を施すことがあることがあります。ご了承ください。

※配慮が必要な箇所があれば以下にご記入ください。(記入例参照)

記入例)

使用教科書にはマスク処理（不明瞭にする効果）を施すこと。